



浦添大公園

ニュースレター
うらしー
2023年7月号



公園からの お知らせ

利用者の皆様へ

来園する際には新型コロナウイルス感染症対策をお願いします。

公園の自然

浦添大公園はセミの大宝庫。クマゼミの最盛期には大音量の合唱を聞くことができます。市内の各保育園や幼稚園ではセミ採り大会を開くほどです。

特集・夏のセミ/クマゼミ、リュウキュウアブラゼミ、クロイワニイニ

クマゼミ

方言名/サンサナー、サンサン、アササー

セミ科 南関東～沖縄島

クマゼミは、日本特産種の大型のセミで、体長は60mm前後。日本産のセミの中では、ヤエヤマクマゼミ、リュウキュウクマゼミに次いで大きい。リュウキュウアブラゼミに比べて頭部の幅も広い。成虫の鳴きは地域で差があるがおおむね6月中旬頃からで、7月中旬まで。夏休みの始まる7月下旬には鳴きが聞こえなくなる。最盛期は7月初旬から中旬で数も多い。センダン、ホルトノキ、タブノキ、トベラ等の木の幹に止まって樹液を吸う。早朝の鳴いていて、数多いと地際まで密集するときがある。

セミは子供たちに大人気、とりわけ体が大きくて、音量の大きいクマゼミは絶大だ。また、夕方地面から這い出して来る仔虫を捕まえて、室内で羽化するシーンを家族で観賞するのは夏の定番だ。



羽化仕立て



羽化殻



密集して鳴く

リュウキュウアブラゼミ

方言名/ナービカチカチー、ギーザー

セミ科 奄美～沖縄諸島

成虫は56-60mmで、クマゼミより一回り小さい。

本土のアブラゼミに比べて、頭から背中にかけての色が違うようです。鳴き声は、チャーチャチャチャーと長めで、地鳴きがギーギーと方言にも使われている。

鳴きは6月初旬から少しずつ、10月下旬まで続き、ずっと発生しつづけるうえ、全体的には数も多いです。クマゼミが民家の庭や、公園の明るいところに生える木を好むのに対し、森中の木を好みます。

アブラゼミは児童低学年より高学年に好まれる傾向があります。



抜け殻

鳴くリュウキュウアブラゼミ



イワサキクサゼミ



大きさ比較

クマゼミ

オオジョロウグモの巣にかかる

クロイワニイニ

方言名/ジージグワー、シミグワー

セミ科 奄美～沖縄諸島

成虫は20-24mmで小さい。全身青褐色で白っぽい粉状ですが、頭と胸の色は灰褐色、背中とおなか黒いです。沖縄にはこの種を含めて5種のニイニイの仲間があります。沖縄島にもう一種本土と同じニイニイゼミが中北部の山地に生息しています。宮古島にはこの仲間最大のミヤコニイニイ、石垣島にはイシガキニイニイとヤエヤマニイニイと2種。イシガキニイニイは絶滅危惧種に指定されています。

都市化に伴い分布地や数が減ってきているセミの一つです。浦添市はかつて民家の周りに垣根やアタイグワー(庭の畑)があり、畑が広く山野も緑が豊富でした。ところが、大規模な緑地は浦添大公園だけになりました。

発生は4月のシーミーの入りから10月までと長い。最盛期は5-6月。方言の由来にもなっているシミグワーは地域によっても差があるため、使わないところも多い。



クロイワニイニイ

は忍者

幹の色に溶け込んでいる



クロイワニイニイ♀



ニイニイゼミ

浦添大公園ニュースレター うらしー 2023年7月号

浦添大公園管理事務所 〒901-2103 沖縄県浦添市仲間2-53

TEL (098) 873-0700 FAX (098) 873-0714

<https://urasoedapark-osi.jp>

指定管理者 沖縄文化スポーツイノベーション株式会社[タピックグループ]

編集・発行:比嘉正一